

# スズメバチ類



東南アジアを中心に分布するスズメバチ類（スズメバチ属）のうち、日本には世界最大種であるオオスズメバチ、軒下などに巣作りをするキイロスズメバチなど7種が生息しています。



## 生態

オオスズメバチ 40mm内外  
遠足途中の小学生が攻撃された

春になると1頭の女王バチが巣作りをはじめます。働きバチは、6月から7月に羽化しはじめ、9月から10月頃、雄バチと新女王の羽化し、10月下旬頃にはハチの数はピークをむかえます。

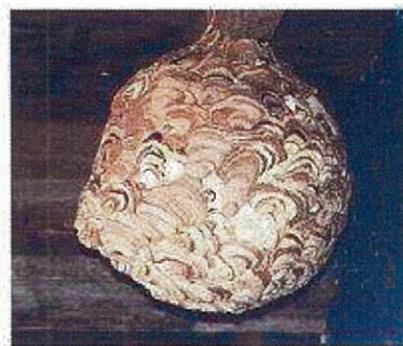
夏から秋にかけては、巣を守るために特に攻撃性が高くなっています。  
巣を見つけたら近づかないことが大切です。

## 営巣場所 ★ 巣が大きくなないと気がつかないことが多いです ★

樹の枝、樹洞、土の中、人家の屋根裏、軒下や戸袋、壁の間、床下など



身近な場所にも巣作りをします



コガタスズメバチの巣 径20cm  
左側の尖った部分が出入口

## 予防

大きな翅音（はおと）とともに周囲を飛び、カチカチと大顎を鳴らすのは、「これ以上近づくな！」というハチからの威嚇音です。巣が近くにある可能性があります。

### ■ ハチが近くによってきたら

- ・手ではらったり、駆け出したりしないで、低い姿勢で静かに遠ざかりましょう（手ではらうなどの激しい動作をすると、ハチが警戒フェロモン(\*1)を発散して、他のハチたちも興奮状態になり、大変危険です！）
- ・家の中に迷いこんだら、もっとも明るい窓を開けて、出ていくのを待ちましょう
- ・車の中に入ったときは、できるだけ多くの窓を全開にして飛びたつのを待ちましょう

\*1：敵の来襲を知らせる化学物質

ハチを刺激しないことが大切



### ■ ハチを刺激するもの

- ・黒色のもの
- ・ヒラヒラするもの
- ・臭い（香水、ヘアースプレーなど）
- ・大声、振動、物音など

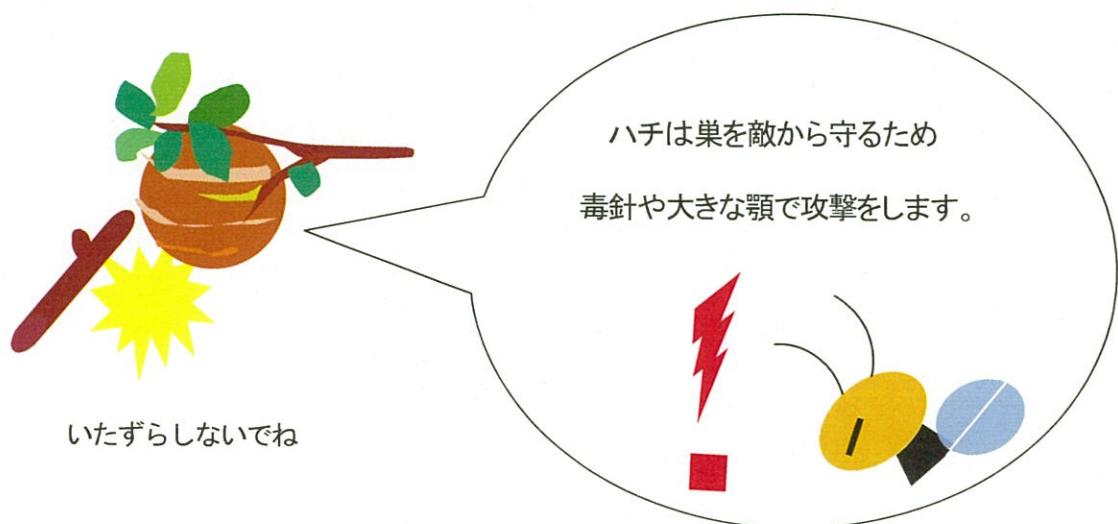
### ■ 野山にでかけるとき

- ・白色や明るい色の服装
- ・長袖、長ズボン、帽子の着用
- ・大声をたてない
- ・香水などをつけない

★ 虫除けスプレーなどは、ハチに対して効果がありません ★

## ■ 刺されないために

- ・ 巣に近づかない、刺激しない
- ・ 樹洞や道端の穴を、棒などで突ついたり、叩かない
- ・ 庭木を剪定するときは、巣がないか確認する
- ・ ハチが餌をとっているときは、そっとしておく
- ・ 死んだハチに触れない
- ・ ジュース類を飲むとき、ハチが中に入らないように注意する



## ■ ハチ刺傷事故に備えて…

- ・ 過去ハチに刺されたことがある人、ハチに接触する機会の多い人は、万が一に備えて、医師に相談しましょう



## 被害

ハチの針毒からは数種の毒物質が分泌され、激痛、腫れ、しびれ、吐き気やめまいなどをおこさせます。毒物質によるアレルギー性ショックは、刺された後10～15分ほどで、血圧低下、頭痛、意識障害などの全身症状を発現し、治療が遅れると死に至ることが報告されています。

## ■ 刺されたときは

- ・ 傷口をきれいな流水でよく洗う
- ・ 毒液を絞り出す\*2（口では吸い出さない）
- ・ 冷やす
- ・ 抗ヒスタミン軟膏を塗る（アンモニアは効果がない）
- ・ 搬送するときは、仰向けにして頭を下げる\*3  
(背負わない)
- ・ なるべく早く医療機関を受診



一度にたくさんのハチに刺されたり  
じんましん、吐き気、呼吸困難などの症状が現れたときは  
一刻も早く医師の治療を受けましょう

\*2：毒液の除去器具はアウトドアショップなどで市販されています

\*3：吐き気がある場合は、頭を横に向けて吐物がつまらないようにしましょう

更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

- 1) 松浦 誠 著：スズメバチはなぜ刺すか 北海道大学図書刊行会 (1988)
- 2) 小野正人 著：スズメバチの科学 海遊舎 (1997)